禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B42

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
１級 建築大工 学科試験問題
(大工工事作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　構造計算を行わず木造建築物の柱の断面寸法を決める場合は、横架材間の垂直距離により決める。

2　ラス張り下地板の継手の位置は、伸縮を一定にするため同一受材上に揃える。

3　節がない木材をかんな削りする場合、一般に、木表は末口の方から、木裏は元口の方から削るとよい。

4　補強コンクリートブロック造の縦筋の入っていない縦目地に接する空洞部には、コンクリートやモルタルを充填しなくてもよい。

5　次図のうち、片持ちばりを表しているものは、図Bである。



図A



図B

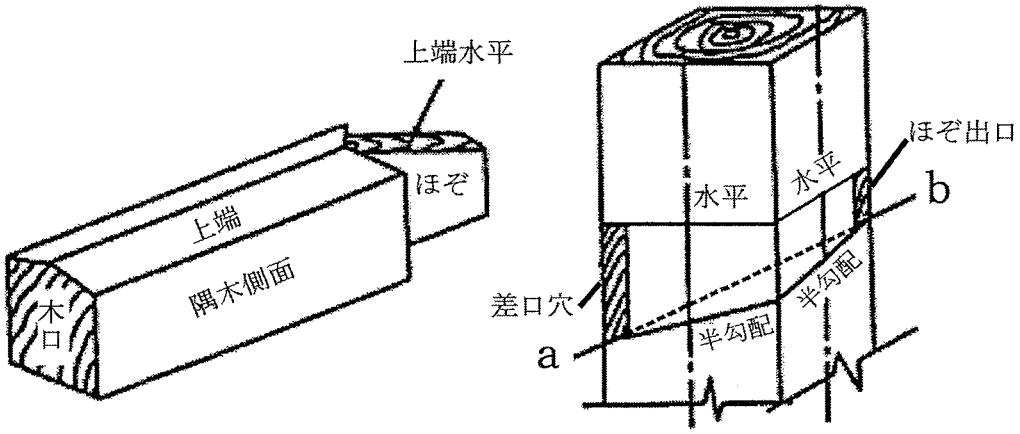
6　出雲大社の建築様式は、春日造りである。

7　長玄と中勾が同じ長さの場合、短玄も同じ長さになる。

8　入隅木(谷木)の長さを求めるときは、入中から測る。

9　柱建て四方転びで柱のくせを取った場合、貫の上端胴付きは、長玄の勾配である。

10　次図の正角に墨をしたa－bは、隅勾配である。



11　手押かんな盤で薄板や短材を削るときは、押さえ治具を使用する方がよい。

［A群（真偽法)］

12　バーチャート工程表(横線式工程表)は、ネットワーク工程表と比べて、各専門工事相互の関係が明確である。

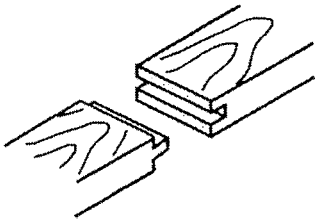
13　建築基準法関係法令によれば、建築工事を行う際に仮囲いを設ける場合の高さは、地盤面から1.8m以上とされている。

14　水盛り・遣方で使用する水杭の打込み間隔は、約1.8mである。

15　基礎に埋設するアンカーボルトの位置は、土台の上木側の継手付近に設置する。

16　間柱と筋かいとの取合い部は、間柱を筋かいの厚さだけ欠き取るとよい。

17　次図は、大入れあり掛けの仕口である。



18　タイルを壁に圧着張りで施工する場合は、一般に、下から上へ張る。

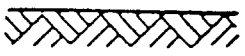
19　かんなで仕上げた木材を養生する場合、粘着力の強いテープを化粧材に直接貼っても影響はない。

20　木材の圧縮強度は、繊維方向に対して直角に力を加えたときよりも、繊維方向に力を加えたときの方が弱い。

21　硬質木片セメント板は、屋根野地板にも使用されている。

22　左官下地材に使用されるワイヤラスには、ひし形、甲形などがある。

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、割栗を表す材料構造表示記号である。



24　建築基準法関係法令によれば、住宅に附属する門や塀は建築物ではない。

［A群（真偽法）］

25　労働安全衛生法関係法令によれば、高さ3m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないと規定されている。

［B群（多肢択一法）］

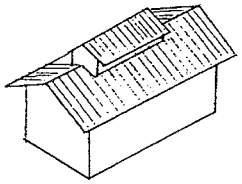
1　建築基準法関係法令によれば、主要構造部でないものはどれか。

イ　壁
ロ　柱
ハ　間柱
ニ　階段

2　床（とこ）の間の種類のうち、床框のある床の間はどれか。

イ　本床
ロ　踏込（ふみこ）み床
ハ　織部（おりべ）床
ニ　蹴込（けこ）み床

3　次図の屋根の形の名称として、正しいものはどれか。



イ　半切妻
ロ　腰折
ハ　しころ
ニ　越屋根

4　組積造でないものはどれか。

イ　石造
ロ　コンクリートブロック造
ハ　れんが造
ニ　鉄骨造

5　建築物に作用する荷重及び外力のうち、鉛直荷重でないものはどれか。

イ　地震力
ロ　固定荷重
ハ　積載荷重
ニ　積雪荷重

6　伊勢神宮の建築様式はどれか。

イ　大社造り
ロ　八幡造り
ハ　春日造り
ニ　神明（しんめい）造り

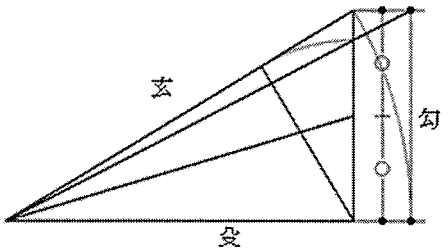
［B群（多肢択一法）］

7　隅木断面がたる木断面に対して十分大きい場合、出隅木の峠の位置として、正しいものはどれか。

イ　隅木側面で、隅木下端線と出中の交点である。
ロ　隅木側面で、隅木下端線と入中の交点である。
ハ　隅木側面で、たる木下端線と出中の交点である。
ニ　隅木側面で、たる木下端線と入中の交点である。

8　次図において、示されていない勾配はどれか。

イ　平勾配の半勾配
ロ　欠勾勾配
ハ　平勾配
ニ　中勾勾配



9　棒隅木(真隅木)に取り付く配付けたる木の上端留めのさしがね使いとして、正しいものはどれか。

イ　中勾勾配
ロ　隅長玄勾配
ハ　長玄勾配
ニ　矩(かね)勾配

10　隅木上端の馬乗墨(本中墨)のさしがね使いとして、正しいものはどれか。

イ　長玄返し勾配
ロ　中勾返し勾配
ハ　短玄返し勾配
ニ　短玄1/2返し勾配

11　棒隅木(真隅木)軒先上端に取り付く広小舞の上端の留め墨として、正しいものはどれか。

イ　叉に対して、長玄(返し勾配)
ロ　叉に対して、隅長玄(返し勾配)
ハ　叉に対して、隅玄(返し勾配)
ニ　叉に対して、短玄(返し勾配)

12　水平と鉛直の角度を測定する器具として、最も適切なものはどれか。

イ　水盛りタンク
ロ　レベル
ハ　大矩(おおがね)
ニ　トランシット

［B群（多肢択一法）］

13　在来木造住宅における施工順序として、適切なものはどれか。

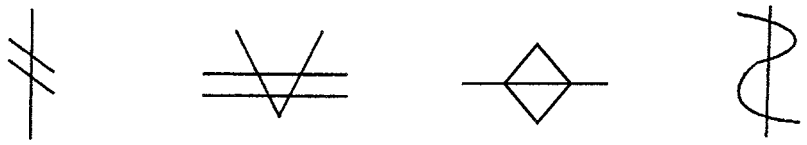
イ　建方　→　外部左官工事　→　屋根工事　→　サッシ工事
ロ　建方　→　屋根工事　→　サッシ工事　→　外部左官工事
ハ　建方　→　サッシ工事　→　外部左官工事　→　屋根工事
ニ　建方　→　屋根工事　→　外部左官工事　→　サッシ工事

14　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、高さ2m以上で階段を設けない仮設足場の登りさん橋の勾配は、(　　)度以下とされている。

イ　25
ロ　30
ハ　35
ニ　40

15　一般に使用されている墨付けの合印の名称として、正しい組合せはどれか。



イ　水印　　ロ　にじり印　　ハ　芯印　　ニ　切り墨印

16　コンクリート打設に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　コンクリート打設に先立ち、型枠に散水しておくとよい。
ロ　棒形振動機(バイブレータ)を使用する場合は、鉄筋に直接当てるとよい。
ハ　日本産業規格(JIS)によれば、レディーミクストコンクリートは、練混ぜを開始してから、原則として、1.5時間以内に荷卸し地点に到着できるように運搬しなければならない。
ニ　高い位置から打設するとコンクリートが分離するため、なるべく低い位置から打設するとよい。

17　継手とその使用箇所の組合せとして、適切でないものはどれか。

(継手)　　(使用箇所)

イ　台持ち継ぎ　・・・　土台
ロ　腰掛けあり継ぎ　・・・　母屋
ハ　追掛け大栓(だいせん)継ぎ　・・・　胴差
ニ　腰掛けかま継ぎ　・・・　桁

［B群（多肢択一法）］

18　木造建築物の耐震及び耐風に関する構造計画として、誤っているものはどれか。

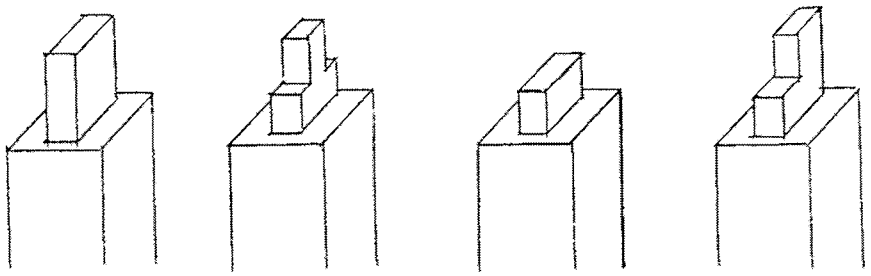
イ　屋根ふき材は、軽量で下地に緊結できるものがよい。

ロ　2階建ての建築物においては、1階よりも2階に耐力壁を多く配置する方がよい。

ハ　2階建ての建築物においては、間仕切壁を階上と階下で同じ位置に造る方がよい。

ニ　柱の寸法が同じ場合、一般に、真壁造よりも大壁造の方が耐震性のある構造にしやすい。

19　次図の仕口のうち、重ねほぞはどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

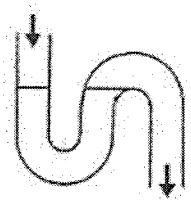
20　次図のトラップの名称として、正しいものはどれか。

イ　わんトラップ

ロ　Pトラップ

ハ　Uトラップ

ニ　Sトラップ



21　建築用材料の使用箇所の組合せとして、一般的でないものはどれか。

イ　ヒバ　・・・・　土台

ロ　スギ　・・・・　柱

ハ　ラワン　・・・　根太

ニ　アカマツ・・・　はり

22　合板に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　コンクリート型枠用合板の規格は、日本農林規格(JAS)により規定されている。

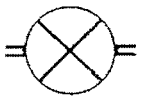
ロ　普通合板は、木構造における耐力壁面材として使用されている。

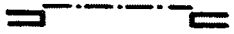
ハ　普通合板は、一般に単板の繊維を互いに直交させ奇数枚合わせとしたものである。

ニ　合板は、木材のもつ方向による性質の違いを少なくした材料である。

［B群（多肢択一法）］

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則において、両開きとびらを表す平面表示記号として、正しいものはどれか。

イ 

ロ 

ハ 

ニ 

24　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

建築基準法関係法令によれば、最下階の居室の床が木造である場合の床の高さは、原則として、直下の地面からその床の上面まで(　　)cm以上とすることとされている。

イ　30

ロ　40

ハ　45

ニ　50

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、架設通路について、墜落の危険のある箇所には、高さ(　　)cm以上の手すり又はこれと同等以上の機能を有する設備を設けることとされている。

イ　75

ロ　85

ハ　95

ニ　105